

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

・本施設は、宮島自然植物実験所、総合博物館、CSR(総合博物館公認学生ボランティア)など多方面から支援を受けています。

施設公開(11/5) ホームカミングデー



園内の温室や樹木園を中心に施設公開を行いました。CSRメンバーの協力もあり、当日は、樹木クイズ・どんぐりストラップ作り・しめ縄作りなどで盛り上がりました。今年は、「大温

室・樹木園見学ツアー」を初めて企画しました。CSRメンバーがナビゲーターを務め、植物の解説を行いました。キャンパス周辺のキノコと野鳥のパネル展示もありました。



高校生もシンポジウムの合間に来てくれました。自分ならではの個性豊かなストラップ↓



毎年、しめ縄作りをされる方も多いです。手作りのしめ縄を飾り、良い年を迎えてください。



キャンパスのヒカゲ/カスラ植物

現生のヒカゲ/カスラ植物(小葉植物ともいう)は、ヒカゲ/カスラ目、ミスニラ目、イワヒバ目の大きく3群に分かれています。その全てがヒカゲ/カスラ綱に含まれる小型から中程度の大きさの草本性植物です。ヒカゲ/カスラ植物に属する植物は小さい単純な葉を持つのが特徴であり、葉義のシダ植物・種子植物と姉妹群を形成する原始的な維管束植物グループで、植物が陸上進出した際の体制を残す「生きた化石」です。

ヒカゲ/カスラやトウゲシバは、生態実験園やがらがら山のほか、キャンパスの自然林で広く自生しています。イワヒバは、植物園内でも栽培しています。山を歩くと、意外とよく見かける植物です。ぜひ一度、見つけてみてください。

- ◆ 1本だけ葉脈を持つ小葉(しょうよう)と呼ばれる葉を作る。
- ◆ 胞子による生殖を行う維管束植物。



ヒカゲ/カスラ



トウゲシバ



イワヒバ

樹木解説フレートの設置と樹木園の整備

樹木園には、教育研究用に樹木が植栽されています。これまで樹木にはネームプレートはついていましたが、解説が少なかったため、今回新たに解説フレートを追加して作成しました。また、草や枝が茂って歩きにくかったところを整備し、観察路を確保しました。ぜひ、散策の際にも、お立ち寄りください。



栽培実習・R4 年秋コース



R4 年秋コースでは、ダイコン、カブ、ハクサイなど、お鍋の季節には欠かせない野菜をたくさん栽培しています。今年は、初めて葉フロッコリーも作りました。このコースでは、野菜の栽培手法を学びながら、収穫の見極め方や調理方法などについても、実際に自分で体験していきます。



サツマイモ掘りや干し柿作りにも挑戦しました。



中学生の職場体験

9月29日に向陽中学校2年生2名、11月9日に東雲中学校特別支援学級2年生5名が、職場体験学習を行いました。体験では、月花美人苗の植え替え、花苗の移植、エンドウ豆の定植、うね立てなど植物栽培の作業に取り組みました。



附属幼稚園の稲刈り

11月4日、附属幼稚園の年長組が稲刈り体験を行いました。田んぼの水がなかなか抜けず、足元を取られて苦戦しましたが、植物系の学生の協力も得て古代米をすべて刈り取りました。刈った稲は、園児たちが協力しながら、植物園まで運んで天日干しにしました。



園内の植物

カンキチク *Muehlenbeckia platyclada*



タネ科

ソロモン諸島原産。1属1種。高さは0.5~3mになる。茎は緑色、扁平で節があり、花は若い枝にしかつかない。夏に節に緑白色の小さな花をつける。

園内の植物

オオトクサ *Equisetum praealtum*



トクサ科

北米原産。成長すると1~1.5mになる大型の常緑シダ植物。花材・生花として利用され、庭園にも植栽される。栽培は明るい日陰で、土は絶えず湿った状態がいい。



[お問い合わせ先]

広島大学 統合生命科学研究科
東広島植物園

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp